

ぼくらカンパニー 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室、多目的室等で用途に分けて使っているが、運動となると公園や軽運動室を借りて行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な数職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	天神のマンションを改装した物件なので、バリアフリーはしていない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングで支援内容や問題把握をしている。研修も定期的に行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施している。問題点は早期の改善を目指している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者外部評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内外で研修を受けている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			生育歴から出来るだけお聞きし、計画を立てている。ご希望があれば連携機関のご提案もしている。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			必要な情報を聞き漏らさないよう、重要な項目は基本情報として項目を設けたものを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングの時に問題把握と共に意見を出し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援内容に基づき行っている。時には利用者様のリクエストを取り入れ達成しやすいよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期的な目標達成のため短期的な目標も設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			自閉症スペクトラムのお子さんが多いため、個別活動を各個人で特性に合わせて調整し施設外活動も組み込んでいる。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日のご利用者の担当を決め、内容や役割分担等も事前のミーティングで確認をしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		その日の振り返りは送迎で出払う事も多いため、翌日の開所開始時間に行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々、行った事とその時出た言葉などを拾い、その時の支援状況やお気持ち分かるように注意して記録し、それを基に支援の検証、改善を行っている。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングも行き、毎月の活動報告も行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインをチェックしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			ほとんど管理者が立ち合い、情報を共有している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			ライン、メール、電話、お手紙、面談で保護者との連絡調整は行っている。学校へは保護者の許可があれば、学校長、担任と面談し連携を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアが必要な子は在籍していません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前の在籍と状況が様々だが連携出来る家庭はしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		卒業生がまだでていないのでない。来年度から卒業生が出てくるので対応したい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			学校との連携の流れで発達教育センターや、えがお館等連携し、ゆうゆうセンター等の研修にも参加している。一部の職員は講演する機会も与えてもらいその中で直接指導を受けることも出来ている。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		学校へ行き渋りの子どもも多い中、他の子どもとの交流は最も慎重に行う必要がある。	

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		各機関へ連携をとっている。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎月の報告書の他、保護者との面談には常時応じている、気になること気づいたことがあればすぐメール、電話等で連絡を取っている。ただし面談の頻度は緊急性の度合いで時期によるが同じ方たちの面談が多くなり偏りがあることは反省点。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		こちらも上記反省点と同じで、個々のご家庭のニーズとスキルで対応が異なるので、数多くの技術提供を望むご家庭には回数も多く行っている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している他、質問があったときはすぐに返答している。また実費が発生するときは事前にご連絡して承諾を得ている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談があるときは営業時間外であっても出来るだけ保護者の都合に合わせて助言、支援を行っている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	事業所内では「ママカフェ」と題し保護者同士の茶話会を催していたが、集まりが悪く次第に回数が減ったのは反省点。今後はある程度決まった日程で開催する予定。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情等の連絡は管理者が受け対応している。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		催し物の印刷物(スケジュール表など)等を毎月郵送している。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○		社内職員はもちろん外部講師にも個人情報の守秘義務を課している。書面で説明し署名をもらっている。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉やコミュニケーションが苦手なお子さんや逆に言葉が出すぎるお子さんのために視覚支援や見通し等の支援を常時行っている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		町内会の催しに職員が参加したり、敬老の日などには子どもたちが制作したものをお届けしたりしている。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアル関係は職員には社内研修も新しいものを常備しているが、保護者への周知は十分でない。今後迅速に対応する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練は子どもと職員で避難訓練を定期的に行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルはもちろん事業所内外の研修を受けている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時に保護者様にご説明させていただき、了承を得ている。職員にも周知徹底している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無は契約時に聞いているが現在医師の指示書が求められるお子さんはいない。おやつ等で心配な方は持ち込みをいただいている。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例を職員で共有し過去の対処対応を知っている。	